

「神川小学校の銭太鼓伝承活動の取組」

1 学校名

錦江町立神川小学校

2 学年・人数

5・6年生（計11人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和5年9月～10月 総合的な学習の時間（本校体育館）

(2) 発表の日時・場所

令和5年11月11日（土） 本校学習発表会（本校体育館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

(1) 名称

銭太鼓（ぜにだいこ）

(2) 由来

約200年前から、鳥浜地区の諏訪神社秋祭りに翌年の豊作を祈願し、踊り続けられてきた。

(3) 構成等

踊りは長さ30cmの竹筒の中に硬貨を入れ、この竹筒2本を持って座って踊る。曲に合わせて、三味線や太鼓で踊る。

5 保存会や地域との連携の具体

これまで銭太鼓を伝承している町内の文化協会の方が、本校の5・6年生に指導及び伝承してくれていた。ただ指導者の高齢化や昨今の感染症対策の関係で、指導が来られない場合が多くなったため、昨年度5年生で覚えた内容を、今年度の6年生が5年生へ伝承する形をとるようになってきている。指導者には隔年で指導してもらおう方向で、地域と学校が連携をとって行っている。このことから銭太鼓が本校に馴染んでいることがうかがえる。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

上の5で記されているとおり、学校と地域、そして文化協会の方が連携をしっかりと取ってきた。ただ伝承者も高齢となっており、児童同士の伝承（児童同士で教え合う新しい形）の流れができてきている。文化協会の方には、近すぎず遠すぎず、見守り的な形で協力をお願いしている。

7 取組の様子（発表当日の様子）



学習発表会での発表

8 参加児童・保護者・教職員等の感想

【児童】

- ・ 練習の成果が発表できてよかった。
- ・ 伝統である銭太鼓を発表できてよかった。
- ・ 6年生と一緒に発表ができていい思い出になった。
- ・ 初めての銭太鼓だったけど、6年生が優しく教えてくれてうれしかった。
- ・ 来年度は、自分たちがこの銭太鼓を引き継いでいこうと思った。

【保護者】

- ・ 6年生の銭太鼓は、昨年より上手くできていました。5年生も6年生に負けないうくらい元気があり、感動しました。ありがとうございました。
- ・ 毎年、銭太鼓の発表を楽しみにしています。今年も感動しました。
- ・ 今後も銭太鼓を大切にして、伝統を引き継いでもらいたい。

【教職員】

- ・ 6年生が5年生に教える姿が頼もしかった。
- ・ 練習に時間を要するが、保護者、地域の方々がたいへん喜んでいる姿をみると今後も伝承していかなければならないと思った。